

2007年「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」

《講義録9限目》

投稿者：中村俊光

- ◆開催月日：2007年11月29日(木)
- ◆開催時間：14:00～16:00
- ◆開催場所：KUポートスクエア



◆講師紹介◆

植山 利昭(うえやま としあき)さん

- ・神奈川県災害ボランティアネットワーク副代表
- ・川崎災害ボランティアネットワーク代表

◆活動◆

阪神・淡路大震災時、両親の住む西宮で災害ボランティアを知り、以降、県内外の防災ボランティア活動を実践。災害が起きると、現地に赴きボランティア活動のコーディネートとバックアップを実践している。

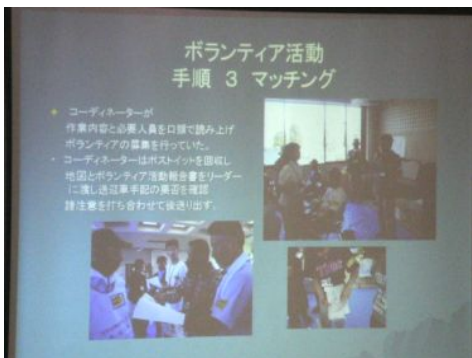
最近では、能登半島地震や新潟県中越沖地震を始めとして洪水・土石流災害などの対応に奔走している。

また、神奈川県内の災害ボランティアコーディネーター養成に力を注いでいる。

減災に取り組む実践的防災まちづくり

ー神奈川県編ー

阪神・淡路大震災の時、西宮市の両親が住むマンションで、室内で壊れる物は全て壊れ、生活用水や飲料水の確保(運搬)の大変さを実感した。減災に取り組むには、まず自分が住む地域を知ることが大事。昔の人は過去の歴史や自然災害を地名(例：竜・猿など)として子孫にメッセージを残していることが多い。災害ボランティアを実践するにあたっては、被災地に学ぶことが多く、自身の安全を最優先に考えて活動して欲しい。



◆総合司会◆

高橋 徳美さん



◆本日のワンポイント◆



田中伸二です



《実践的防災について》

神奈川県足柄上郡大井町河原の自治会長として6年間の防災活動を紹介。地域住民の防災に対する意識改革に苦労した。